

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分		授業の方法		講義	
科 目 名	在宅生活支援技術		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30	(1) 時間(単位)	
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	後期	教室名			
担 当 教 員	太田和江	実務経験とその関連資格	脳卒中内科病棟および 一般外科病棟 病棟看護師として6年間勤務 認知症対応型通所介護施設で看護師として1年勤務					
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>居宅において生活支援を行うには、療養者が置かれている経済状況、社会状況などを考慮した合理的な方法で行うことが必要となる。この授業では基礎看護学で学んだ看護技術を原理原則を守りながら応用して生活支援をしていく方法、在宅で利用しやすい医療機器の導入及び管理方法を学ぶ。家族との生活の場での療養を支える看護の方法を単に知識や技術を学ぶのではなく、創意工夫をして生活を支える在宅看護技術を習得することを目的とする。</p>								
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>終講試験 80% 授業参加度20%</p>								
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>メディカ出版 ナーシンググラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術</p>								
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>介護用品売り場ではどのような看護用具や生活支援用具が販売されているか、街中で見かける療養者や障害者の状況を観察しておく。</p>								
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>基礎看護学や領域別看護学で学んだ技術を創意工夫することで生活の場でも行えます。生活の場が療養の場となるための工夫を楽しんで学習してください。</p>								
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容			
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	療養の場である居宅の環境整備について考えることができる	テキストP38～44				自己の住居や部屋をイメージしておく 介護保険の住宅改修
		各コマにおける授業予定	生活支援技術の考え方 在宅環境調整 生活空間 在宅リハビリテーション					
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅療養を支える看護師のコミュニケーションを理解する 在宅での感染予防の方法を理解する	テキストP26～				コミュニケーションの原則 スタンダードプリコーション
		各コマにおける授業予定	意思伝達装置の種類とその使用方法、導入に必要な制度 家族とのコミュニケーションの基本 多職種との連携で用いるコミュニケーション 在宅で行う感染予防方法					
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅療養者の日常生活を支える援助を理解する(食事 排泄)	P56～61 P65～71				フレイル サルコペニア 排泄障害 胃瘻管理
		各コマにおける授業予定	食生活のアセスメント 経口摂取の援助 経管栄養法 排泄アセスメント オムツの工夫					
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅療養者の日常生活を支える援助を理解する(清潔 更衣)	P75～77 P148～153				清潔援助
		各コマにおける授業予定	入浴介助 洗髪、足浴の工夫 入浴援助 足病変のケア					
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅療養者の移動援助と褥瘡予防とその管理を理解する	P78～82 P144～147				移動を支援するための福祉用具 看護用具
		各コマにおける授業予定	移動と姿勢の保持それに関する福祉用具 褥瘡予防の方法と管理方法					

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅療養者の呼吸ケアと在宅酸素療法を理解する	P62～64 P110～122	COPD 酸素吸入
		各コマにおける授業予定	呼吸困難感への支援 呼吸リハビリテーション 排痰ケア 在宅酸素療法の支援 気管カニューレの管理		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	在宅酸素療法 非侵襲的人工呼吸療法の機器の実際を知る	業者からのパンフレット HOT機器 NPPV機器	
		各コマにおける授業予定	在宅酸素療法の機器の実際を体験する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅人工呼吸療法、在宅中心静脈栄養法を理解する	P106～109 P123～125	人工呼吸器 中心静脈栄養法
		各コマにおける授業予定	在宅での侵襲的、非侵襲的呼吸療法 在宅での中心静脈栄養法 CVポートの管理		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅療養者の排泄に関する医療ケアを理解する	P127～134 P140～144	人工透析 人工肛門
		各コマにおける授業予定	バルンカテーテル管理 間欠的自己導尿法 ストマ管理 CAPD		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅における薬物療法支援と疼痛管理を理解する	P94～101 P135～149 P153～157	内服支援用具
		各コマにおける授業予定	内服管理 インスリン自己注射管理の支援 疼痛管理		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	在宅で臨死期を迎えるその人らしさを保つ看護援助を考える	P48～51	臨死期の援助
		各コマにおける授業予定	在宅での臨死期のケア 麻薬管理 エンゼルケア 湯灌		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	在宅で出会う異常な状況を予測し、対応する基礎的能力を身につける	P92～93	在宅生活でのリスクを考慮しておく
		各コマにおける授業予定	脱水 熱中症 急変 家族関係の問題 リスクマネジメント		
第13回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	家庭訪問技術を身につける	P14～17	和室での立ち居振る舞い 招かれるときのマナー
		各コマにおける授業予定	初回訪問 訪問マナー		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	家庭訪問技術を身につける	P14～17	
		各コマにおける授業予定	模擬訪問看護実習		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	在宅療養を支える自助具を考えることができる	自助具	
		各コマにおける授業予定	グループごとに自助具を作成し発表		